

**地域振興プロジェクト
「きずな」
～地域とともに 未来のために～**

地域住民との連携を目指して

これまでの海星学園の取り組み



スローガン「地域とともに 未来のために」の実現に向け、
地域振興プロジェクト『きずな』に取り組み、

社会的課題の解決を通じ、海星学園・生徒・教職員・地域住民の
持続的成長を目指していく。



スポーツ×SDGs

海星スポーツクラブを立ち上げる。

スポーツに興味がある人は多くいるものの、SDGsには興味がない・身近でないという人も多い。本事業をSDGsの環境問題・水問題・飢餓問題などにつなげていくことで、多くの問題に対する入り口となりうる。

スポーツ活動は、チームや会場に様々な人・モノが集まる。

県内での多くのスポーツ活動に関わる機会を増やすこと、地域活性化の入り口となることが目標である。

そのつながりから生まれる化学反応で社会の課題を解決できる。



きずなプロジェクトについて

長崎新聞より

地域とのつながりから生まれる
発展的な関係性を活用して、
社会の課題を解決し、新たな社会
を構築する。



高校生は「教える」側に立つことで、

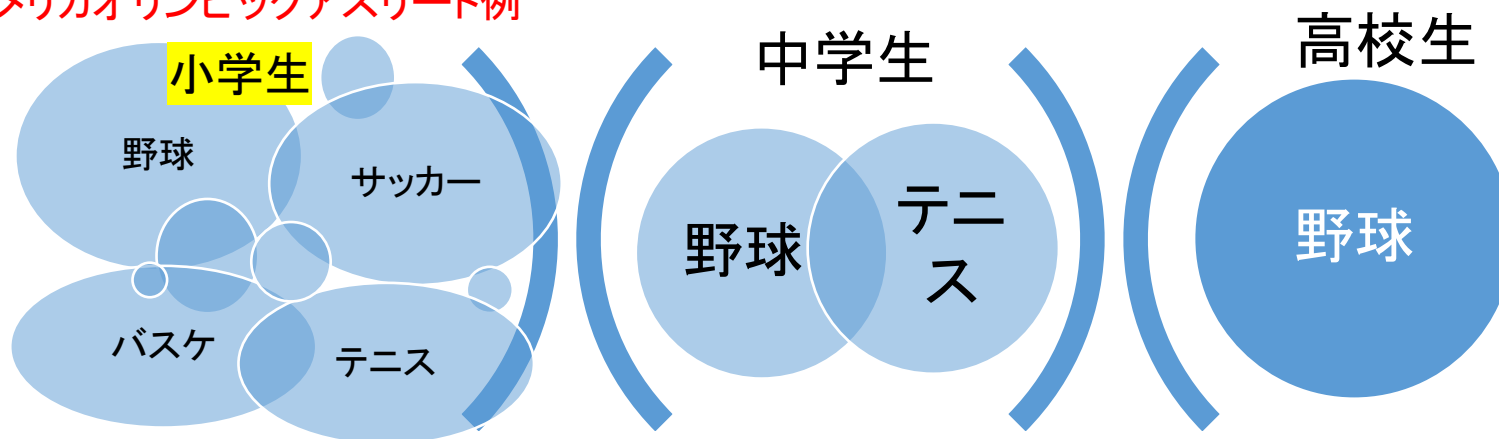
子どもたちの目線に合わせることで、相手がどんな印象を持っているのかを考え、適切な声掛けや表情・行動から他者の心理を判断する力を養う。



コンセプト

スポーツを1つに絞らない

アメリカオリンピックアスリート例



幼少期に複数のスポーツを行い、競技特化を遅らせる事は長期的なパフォーマンスにもプラスになると考えられ、スポーツ傷害や燃え尽き症候群の防止にも繋がる。

しかし、実際には課題は多い……



金銭面



施設・用具面



指導面



地域振興プロジェクト『きずな』～地域とともに 未来のために～

地域スポーツ普及プログラム

小学生スポーツ教室

- ◆ 各月2回実施
- ◆ 参加費**無料**
- ◆ 定員 各競技約10名
- ◆ 時間10時～12時

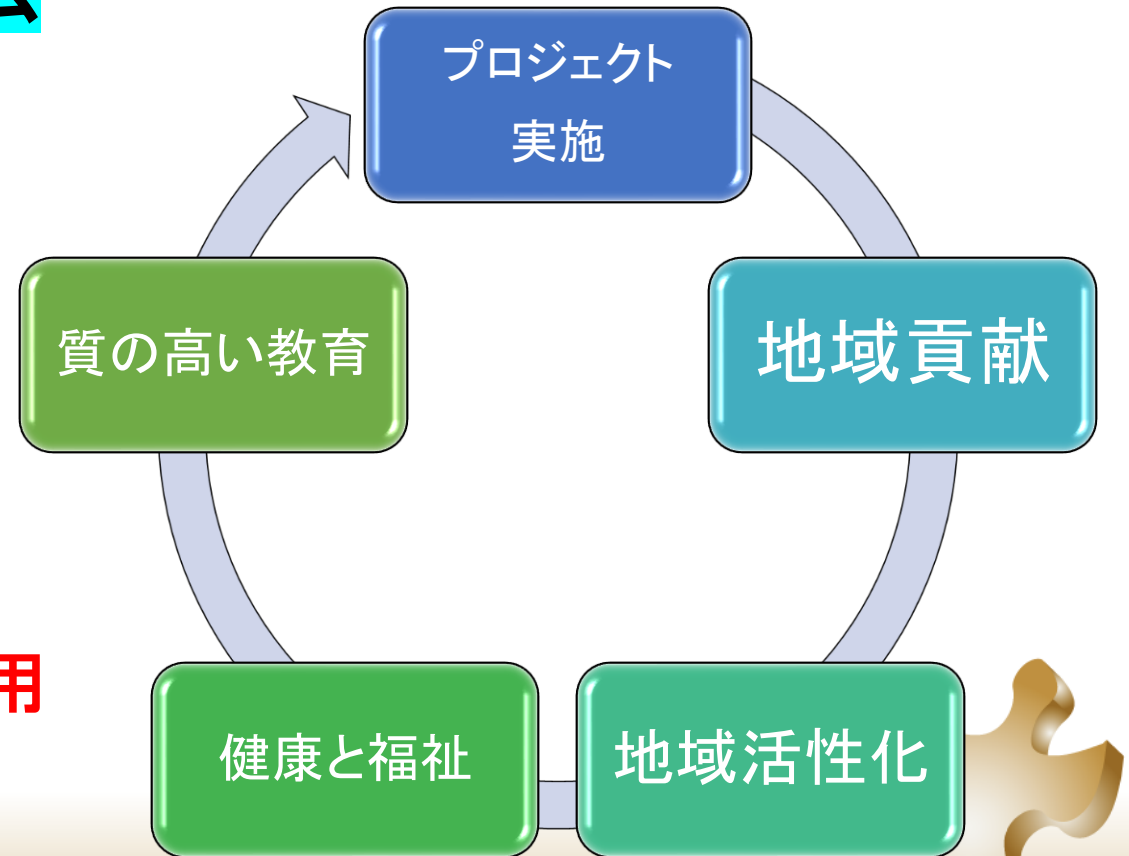
顧問による基礎練習

海星高校グラウンド・用具使用

参加競技

野球・サッカー・テニス

ラグビー・バドミントン・弓道



「きずな」実施詳細

1つの競技だけでは得られない感覚やコンタクトスポーツにおける、人の距離感やぶつかり方などを学ぶきっかけとなる。

また、より複雑で反応的な全身運動の発達が可能になる。

「脳を鍛える」という意味でも、小学生までに様々なスポーツをやることが大切。

実施イメージ

